

平成 20 年 度 事 業 の 概 要

財団法人京都大学教育研究振興財団は、その目的を達成するため、平成 20 年度において下記の事業を実施した。

助成総額 99,460,000 円

A. 個人助成 (助成事業件数 75件 / 助成額合計 64,660,000円)

国際交流促進助成 (第 1 号 事業) 助成合計額 46,160,000円

国際研究集会派遣助成(含京セラ・東レ助成) (30件 / 5,750,000円)

単位:円

所 属	職・学年	氏 名	年 齢	国 際 研 究 集 会 名	開 催 国	開 催 場 所	派 遣 期 間	助 成 金 額
農学研究科	助 教	竹内 祐子	28	国際線虫学会第5回大会	オーストラリア	ブリスベンコンベンション&エキジビションセンター	自 20/07/12 至 20/07/19	200,000
エネルギー理工学研究所	准教授	増田 開	37	第20回研究・産業への加速器応用に関する国際会議	アメリカ	ルネサンスワシントンホテルフォートワース	自 20/08/10 至 20/08/17	200,000
原子炉実験所	准教授	藤井 俊行	35	EUCHEM2008, 溶融塩とイオン液体の国際会議	デンマーク	コペンハーゲン・アドミラルホテル	自 20/08/23 至 20/08/31	200,000
工学研究科	助 教	細川 三郎	28	第5回環境触媒に関する国際会議	イギリス	クイーンズ大学	自 20/08/30 至 20/09/04	200,000
工学研究科	助 教	八木 俊介	28	第59回国際電気化学会	スペイン	セビーリヤ	自 20/09/05 至 20/09/14	200,000
工学研究科	助 教	山川 誠	34	第14回世界地震工学会議	中 国	北京・九華山荘	自 20/10/11 至 20/10/17	150,000
霊長類研究所	助 教	江木 直子	37	第68回古脊椎動物学会	アメリカ	ルネッサンス・クリーブランド・ホテル	自 20/10/14 至 20/10/20	200,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	国 際 研 究 集 会 名	開 催 国	開 催 場 所	派遣期間	助成金額
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程 4年	宮田 寛章	29	第11回国際民族生物学会	ペルー	クスコ	自 20/06/19 至 20/07/12	250,000
工学研究科	博士課程 3年	赤松 寛文	27	第9回ヨーロッパガラス会議	スロバキア	トレンチーン市会議場	自 20/06/20 至 20/06/30	200,000
工学研究科	博士課程 3年	河 周賢	27	応用藻類学に関する第11回国際会議	アイルランド	アイルランド国立大学	自 20/06/21 至 20/06/29	200,000
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程 5年	佐藤 靖明	31	第11回国際民族生物学会	ペルー	クスコ	自 20/06/22 至 20/07/06	250,000
人間・環境学 研究科	博士課程 2年	Maria Lucia Correa	31	第25回国際文学・心理学集会	ポルトガル	応用心理学 高等研究所	自 20/07/01 至 20/07/14	200,000
人間・環境学 研究科	博士課程 3年	徐 玉子	35	第10回国際女性学大会	スペイン	マドリードコン ブルテンス大 学	自 20/07/03 至 20/07/09	200,000
工学研究科	博士課程 1年	洪 元鍾	27	第14回国際触媒会議	韓 国	ソウル会議 展示会場	自 20/07/12 至 20/07/19	100,000
情報学研究科	博士課程 3年	武笠 知幸	28	2008年国際コンピュータビジョン夏の学校	イタリア	シチリア島・ カタニヤ	自 20/07/12 至 20/07/22	200,000
文学研究科	博士課程 2年	Sylwia STANIAK	29	第18回国際言語学会	韓 国	高麗大学	自 20/07/21 至 20/07/26	100,000
人間・環境学 研究科	博士課程 2年	中川奈津子	25	言語・コミュニケーション・認知に関する国際会議並びに第2回認知言語学に関する大学院生会議	イギリス	ブライトン大 学	自 20/08/03 至 20/08/11	200,000
農学研究科	博士課程 1年	天野 皓己	24	第12回国際微生物生態学シンポジウム	オーストラ リア	ケアンズコン ベンションセ ンター	自 20/08/16 至 20/08/23	200,000
生命科学研究 科	博士課程 1年	標葉 隆馬	25	科学技術社会論学会2008年度年次研究大会	オランダ	エラスムス大 学	自 20/08/18 至 20/08/26	200,000
理学研究科	博士課程 2年	鈴木 聡	25	第26回イタチ科会議	ハンガリー	エトヴェシュ・ ローランド大 学	自 20/08/18 至 20/09/03	200,000
人間・環境学 研究科	博士課程 3年	近藤 あき	27	ヨーロッパ視知覚学会第31回大会	オランダ	ユトレヒト大 学	自 20/08/23 至 20/08/30	200,000
情報学研究科	博士課程 1年	深澤 義成	24	第22回理論応用力学国際会議	オーストラ リア	アデレードコン ベンションセ ンター	自 20/08/23 至 20/08/30	200,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	国 際 研 究 集 会 名	開 催 国	開 催 場 所	派遣期間	助成金額
法学研究科	博士課程 3年	藤村 直史	29	アメリカ政治学会2008年年次総会	アメリカ	ボストン・コブレ イスクエアホテル	自 20/08/26 至 20/09/02	200,000
工学研究科	博士課程 2年	野口 和則	26	リバーフロー2008(流砂水理学に関する国際会議)	トルコ	イズミール	自 20/09/02 至 20/09/07	200,000
生命科学研究科	博士課程 1年	荒木 徹朗	24	第12回国際ゼノパス会議	ドイツ	ライヴェン	自 20/09/05 至 20/09/13	200,000
工学研究科	博士課程 1年	山田 崇恭	23	第12回AIAA/ISSMO多領域解析と最適化の会議	カナダ	ビクトリア会議場	自 20/09/09 至 20/09/14	200,000
文学研究科	博士課程 2年	浅尾 仁彦	27	第5回国際構文文法学会	アメリカ	テキサス大学	自 20/09/25 至 20/10/01	200,000
工学研究科	博士課程 2年	多幾山法子	28	第14回世界地震工学会議	中国	北京・九華山荘	自 20/10/12 至 20/10/17	150,000
工学研究科	博士課程 1年	高部 祐剛	24	第8回世界閉鎖性海域環境保全会議	中国	上海エバーブライト・コンベンションセンター	自 20/10/26 至 20/10/30	150,000
エネルギー科学研究科	博士課程 3年	渡辺 淑之	28	2008年第4回マルチスケール材料モデリング国際会議	アメリカ	タナハシー・レオン・カウンティ・ピックセンター	自 20/10/26 至 20/11/01	200,000

長期派遣助成 (14件 / 32,050,000円)

単位:円

所 属	職・学年	氏 名	年齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派遣期間	助成金額
原子炉実験所	助 教	佐藤 紘一	31	ヘリウムイオン照射された金属材料中の欠陥とヘリウム原子の相互作用	スウェーデン	チャルマーズ工科大学	自 20/05/24 至 21/03/01	1,950,000
医学研究科	助 教	岡野 純子	38	皮膚の正常および異常発生の分子機構の解明	アメリカ	国立衛生研究所	自 20/08/01 至 21/07/31	2,550,000
情報学研究科	助 教	新熊 亮一	31	コグニティブ無線を用いた周波数資源制御技術の研究	アメリカ	ラトガース大学	自 20/09/01 至 21/08/31	2,550,000
医学部附属病院	助 教	植村 健吾	38	シナプス結合の調節を介したアルツハイマーの治療アプローチ	アメリカ	ハーバード大学マサチューセッツ総合病院	自 20/09/01 至 21/08/31	2,500,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派遣期間	助成金額
医学部附属病院	助 教	川村純一郎	38	炎症性腸疾患に対する腹腔鏡手術の研究	アメリカ	コーネル大学	自 20/12/30 至 21/12/30	2,550,000
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程 3 年	山科 千里	25	シロアリ塚をとりまく自然環境のメカニズムと動態 ナミビア半乾燥地におけるシロアリ塚、植生、人間活動の関わり	ナミビア	ナミビア砂漠研究財団	自 20/07/25 至 21/03/25	1,800,000
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程 5 年	長谷川悟郎	39	地域社会の多様性 ボルネオ・イバン農村社会における祭宴の再活発化をめぐるローカリズムの人類学的研究	マレーシア	マレーシア大学サラワク校東アジア研究所	自 20/07/27 至 21/05/26	2,100,000
文学研究科	博士課程 2 年	小柳 敦史	26	宗教学成立期における「宗教的アプリアリ」概念の思想史的研究	ドイツ	ミュンヘン大学	自 20/08/01 至 21/07/31	2,550,000
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程 3 年	伊藤 千尋	24	アフリカ農村における出稼ぎ労働の社会・経済的役割 ザンビア南部州の事例から	ザンビア	ザンビア大学社会経済研究所	自 20/08/04 至 21/03/31	1,800,000
人間・環境学研究科	博士課程 1 年	横森 大輔	26	日本語会話における「意識の流れ」の記述	アメリカ	カリフォルニア大学サンタバーバラ校	自 20/08/24 至 21/08/23	2,500,000
経済学研究科	博士課程 2 年	竹内 祐介	28	植民地朝鮮における商品流通と消費市場の成長に関する研究	韓 国	ソウル大学	自 20/09/01 至 21/08/31	2,450,000
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程 4 年	原子 壮太	30	タンザニア南部の山麓高原地帯における社会動態とイネの品種多様性	タンザニア	ソコイネ農業大学	自 20/09/20 至 21/09/19	2,600,000
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程 5 年	木下 彰子	33	現代インドにおける家庭内儀礼の変容 宗教的事物の商品化とその受容	インド	デリー大学	自 20/10/01 至 21/09/30	2,550,000
アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程 4 年	井上真悠子	26	東アフリカにおける観光化と移動労働者の広域ネットワークに関する人類学的研究	タンザニア	タル・エス・サラーム大学	自 20/11/20 至 21/06/19	1,600,000

中期派遣助成 (3件 / 2,250,000円)

単位:円

所 属	職・学年	氏 名	年齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派遣期間	助成金額
経営管理大学院	准教授	桐畑 哲也	38	大学発ベンチャーの知的財産マネジメントにおける戦略的外部資源活用に関する日米比較研究	アメリカ	デュポール大学	自 21/01/07 至 21/03/30	750,000

所 属	職・学年	氏 名	年 齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派 遣 期 間	助成金額
医学研究科	助 教	建内 宏重	31	運動系機能障害症候群(MSI syndromes)に対する効果的な理学療法介入の研究	アメリカ	ワシントン大学	自 21/02/01 至 21/04/30	750,000
医学研究科	博士課程 3 年	堀 龍介	32	薬物内耳局所投与による内耳障害治療法開発	スウェーデン	カロリンスカ研究所	自 20/08/06 至 20/11/06	750,000

短期派遣助成 (9件 / 3,560,000円)

単位:円

所 属	職・学年	氏 名	年 齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派 遣 期 間	助成金額
文学研究科	教 授	宮内 弘	60	ラーキン、イェイツ、ハーディの詩における形式と内容	イギリス	ハル大学	自 20/04/11 至 20/06/10	450,000
人間・環境学 研究科	助 教	西川 完途	33	中華人民共和国四川省における有尾両生類相の調査	中 国	中国科学院 成都生物研 究所	自 20/06/10 至 20/07/06	370,000
経済学研究科	講 師	マスワナ ジャ ン・クロード	42	EU、日本、アメリカ、中国間の新たな金融・経済相互依存の研究	フランス	エセック大学 ビジネスス クール	自 20/07/17 至 20/08/09	390,000
霊長類研究所	准教授	西村 剛	33	X線CTによるヨーロッパ産旧世界ザル化石の頭蓋内部構造の比較分析	フランス・ド イツ	国立自然史博 物館・グライ フスバルト大学	自 20/08/24 至 20/09/21	440,000
情報学研究科	准教授	藤岡 久也	40	あるクラスのネットワーク結合されたシステムのフォーメーション制御	スウェーデ ン	王立工科大 学	自 20/08/25 至 20/09/25	450,000
教育学研究科	准教授	齊藤 智	42	作動記憶容量の新しい測定方法に関する国際共同研究	イギリス	ランカスター 大学	自 20/10/20 至 20/11/07	340,000
教育学研究科	教 授	岩井 八郎	52	ポスト・フォーダイズム時代におけるライフコースの変動に関する比較研究	アメリカ	イェール大 学	自 20/11/10 至 20/12/01	370,000
工学研究科	博士課程 3 年	三木 崇史	26	神経細胞の恒常的ダイナミクスを支えるカルシウムチャネルとその分子複合体に関する分子神経生理学的研究	アメリカ	アイオワ大 学	自 20/11/15 至 20/12/11	420,000
情報学研究科	博士課程 3 年	阪本真由美	37	インドネシアの津波災害被災地における災害観の形成と避難行動	インドネシア	シャクアラ大 学津波研究 センター	自 20/12/15 至 21/01/06	330,000

短期招へい助成 (6件 / 2,550,000円)

単位:円

所 属	職	氏 名	年齢	研 究 課 題	国・機関・職名	招へい期間	助成金額
農学研究科	准教授	宇波 耕一	(受入教員)				
		フェリックス コフィ アバガレ Felix Kofi Abagale	29	稲作農業と水環境のモデル化に対するGISの適用	ガーナ・開発研究大学・ 助教	自 20/05/08 至 20/06/05	490,000
人間・環境学 研究科	教 授	田村 類	(受入教員)				
		ロバート グレイザー Robert Glaser	66	優先富化現象のメカニズムに関するミクロスコピック な研究	イスラエル・ベングリオン 大学・教授	自 20/06/21 至 20/07/20	450,000
生命科学研究 科	教 授	竹安 邦夫	(受入教員)				
		ダニエル ライアン Daniel Ryan	28	一分子生化学・高速原子間力顕微鏡法を用いた “酵素 - DNA相互作用”の研究	イギリス・ダンディー大学・ 研究員	自 20/08/25 至 20/09/25	450,000
農学研究科	教 授	水山 高久	(受入教員)				
		ジョナサン B. ラローン Jonathan B. Laronne	60	流砂観測装置の開発に関する研究	イスラエル・ベングリオン 大学・教授	自 20/08/26 至 20/09/21	420,000
工学研究科	准教授	山本 雅博	(受入教員)				
		ヒルベルト H. ジロー Hubert H. Girault	51	分極性イオン液体 ソフトマター界面の研究	スイス連邦工科大学ローザ ンヌ校化学技術研究所・所 長	自 20/10/01 至 20/10/30	450,000
医学研究科	准教授	三木 幸雄	(受入教員)				
		ヴァンサン デュセ Vincent Dousset	46	ナノテクノロジーを用いた中枢神経系分子イメージ ング	フランス・ボルドー第2大 学医学部・副学部長	自 21/03/09 至 21/03/22	290,000

教育研究活動推進助成 (第 2 号 事業) 助成額 12,000,000円

シンポジウム等開催助成 (8件 / 12,000,000円)

単位:円

代表者の所属・職・氏名	事業内容	開催期間	助成金額
工学研究科 教授 小林 潔司	第11回ウデバラシンポジウム2008: グローバルな経済統合化における空間的分散生産及びネットワークに関するガバナンス 京都市国際交流会館	自 20/05/15 至 20/05/17	1,500,000
理学研究科 教授 太田 隆夫	非平衡ソフトマスター国際シンポジウム 京都大学医学部芝蘭会館	自 20/06/02 至 20/06/05	1,500,000
地域研究統合情報センター 准教授 村上 勇介	ポスト新自由主義時代のアンデス諸国 社会変動の比較研究 京都大学百周年時計台記念館	自 20/06/14 至 20/06/15	1,500,000
教育学研究科 教授 田中 耕治	日中韓における教育課程・教育評価改革に関する国際シンポジウム 京都大学芝蘭会館別館	自 20/07/31 至 20/08/01	1,500,000
人文科学研究所 教授 富谷 至	国際シンポジウム: 東アジアにおける礼と正義 オランダ・ライデン大学漢学研究所	自 20/09/01 至 20/09/02	1,500,000
医学研究科 教授 平出 敦	日英国際シンポジウムジョイントシンポジウム: 卒後医学教育の新たな発展にむけて Work-Based Learning からのチャレンジ 京都大学医学部芝蘭会館	自 20/11/13 至 20/11/13	1,500,000
工学研究科 准教授 山本 量一	第4回ガラス物理の統一概念国際会議 京都大学医学部芝蘭会館	自 20/11/25 至 20/11/28	1,500,000
工学研究科 教授 大塚 浩二	第33回高性能液相分離及び関連技術国際シンポジウム 京都大学船井哲良記念講堂	自 20/12/02 至 20/12/05	1,500,000

学術研究書刊行助成 (第4号事業) 助成額 6,500,000円

学術研究書刊行事業 (5件/6,500,000円)

単位:円

所属	職・学年	氏名	年齢	学術研究書題名	出版者	刊行月	助成金額
理学研究科	教授	藤吉好則	59	ニューロンの生理学	京都大学学術出版会	21年2月	1,500,000
東南アジア研究所	教授	藤田幸一	48	THE ECONOMIC TRANSITION IN MYANMAR AFTER 1988 Market Economy versus State Control	京都大学学術出版会	21年3月	1,300,000
人間・環境学 研究科	教授	山田孝子	60	ラダック 西チベットにおける病いと治療の民族誌	京都大学学術出版会	21年3月	1,200,000
フィールド化学 教育研究センター	准教授	田川正朋	45	稚魚 生残と変態の生理生態学	京都大学学術出版会	21年3月	1,200,000
文学研究科	教授	吉田和彦	54	East and West: Papers in Indo-European Studies	Dr. Ute Hempen Verlag	22年5月	1,300,000

大学の全体計画事業助成 (助成事業件数10件/助成額合計 34,800,000円)

国際交流促進助成 (第1号事業) (3件/助成額 13,800,000円)

京都大学国際シンポジウムの開催: 9,290,000円

京都大学の誇る学術研究を世界に発信し、研究情報交換および研究者交流を行い、研究面における国際貢献・国際交流の進展を図る。

第11回京都大学国際シンポジウム: 『現代医学におけるバイオサイエンスの潮流』の開催経費

京都大学の医学生物学系の主要3部局(医学研究科、再生医科学研究所、ウイルス研究所)が、世界の最前線を行く研究領域 -

遺伝子改変動物を駆使した多様な病体モデルの研究、ES細胞などの再生医学研究、バイオイメージング技術、ゲノム疫学など - において、初めて合同で成果を集約して議論を行い、バイオサイエンスの勃興期にある中国で、次世代の医学医療へ向けてのバイオサイエンスの方向性とあり方を展望する。

開催期間：平成20年10月9日～11日

開催場所：復旦大学上海医学院（中国）

出席者：延べ約700名（復旦大学・浙江大学・南京大学・第四軍医大学・四川大学・華中科技大学、南京医科大学等の医科系研究者・学生を中心に）

第12回京都大学国際シンポジウム：『変化する人種イメージ 表象から考える』の開催経費

欧米やその植民地の経験に基づく知見が主流となってきた人種研究分野において、日本人研究者として成果を国内外に発信する。

開催期間：平成20年12月5日～7日

開催場所：京都大学

参加人員：国内外研究者 延べ約430名

大学間学術交流協定締結校との交流事業： 810,000円

京都大学が学術交流協定を結んでいる海外78大学のうち、交流協定に基づく研究者交流の実績を積み、双方の受入体制が整っているフランスのルイ・パスツール大学との間で、研究者の相互交流を積極的に行い国際交流を推進するとともに、交流校を基点にしてネットワークを広げ、学術研究上の国際的リーダーシップを獲得していく。

ルイ・パスツール大学との研究者相互交流に要する渡航費・滞在費

ルイ・パスツール大学からの研究者招へい 2名

国際大学連合事業(APRU・AEARU)への参画： 3,700,000円

組織的国際活動として、APRU(環太平洋大学協会)やAEARU(東アジア研究型大学協会)に加盟し、その中核大学として、教育・研究の分野から、地域社会の発展や問題解決に貢献するとともに、研究者の相互交流を積極的に行い国際的学術コミュニケーションの形成や次世代研究者の育成を図る。

APRU(環太平洋大学協会)関連事業参加経費

第2回APRU World Institute 気候変動に関するワークショップ / 平成20年4月27日～28日・マラヤ大学

第3回APRU 学部学生サマープログラム / 平成20年7月7日～18日・復旦大学

第9回APRU 博士課程学生会議 / 平成20年7月14日～18日・極東国立総合大学

APRU リサーチシンポジウム「環太平洋地震災害に備える」 / 平成20年8月21日～22日・カリフォルニア大学

第2回APRU アジア太平洋Brain & Mindリサーチシンポジウム / 平成20年9月1日～3日・シンガポール国立大学

HORIBA-APRU 老年学に関するリサーチコンファレンス2008 / 平成20年9月8日～12日・東京大学

第3回APRU World Institute 気候変動に関するワークショップ
/ 平成20年9月9日～12日・ダナン市科学技術部

第9回APRU 遠隔教育とインターネット会議 / 平成20年11月19日～22日・早稲田大学

AEARU(東アジア研究型大学協会)関連事業参加経費

AEARU ウェブ技術・コンピュータ科学ワークショップ / 平成20年4月11日・韓国科学技術院

教育研究活動推進助成 (第2号事業) (助成事業件数4件 / 助成額 11,400,000円)

京都大学未来フォーラムの開催: 1,600,000円

京都大学の学生に対し、国際的視野、社会・経済の変化に対応しうる幅広い視野で活躍する人々を招いて講演と意見交換の場を提供し、講演者を通じて得られる社会からの情報還元により、学生自身が総合的な判断力を養い、社会の中で幅広く物事に対処できる自己の確立、学習・研究意欲の向上を図ることにより、自己研鑽及び意識改革へとつなげる。

第33回～第37回京都大学未来フォーラム開催経費

開催場所: 京都大学百周年時計台記念館

第33回	6月16日	「近畿における琵琶湖の価値」	滋賀県知事	嘉田由紀子
第34回	7月18日	「生命観を問い直す」	青山学院大学教授	福岡伸一
第35回	11月17日	「時代と商社 - 変化への対応 - 」	住友商事株式会社相談役	宮原賢次
第36回	12月5日	「発見力 - 経営コンサルタンという面白い仕事 - 」	株式会社小宮コンサルタンツ 代表取締役	小宮一慶
第37回	2月9日	「小説家という仕事」	作家	万城目学

学生交流協定校への短期学生派遣： 5,000,000円

京都大学が留学生受入れのプログラムである「国際教育プログラム」に対応する「大学間交流協定に基づく派遣留学制度」として実施するもので、京都大学の学部または大学院に在籍しつつ、1学期以上1年以内の期間、協定校で教育を受けて単位取得、研究指導を受ける。

学生交流協定校への学生35名の派遣経費(往復航空運賃の補助)

(アメリカ: ジョージ・ワシントン大学1名、ハワイ大学2名、ペンシルバニア大学1名、カナダ: ウォータールー大学4名、マギル大学2名、コンコルディア大学1名、オーストリア: ウィーン大学1名、メルボルン大学1名、ドイツ: ベルリン自由大学2名、ミュンヘン大学1名、オランダ: コトレヒト大学3名、ライデン大学1名、イギリス: マンチェスター大学3名、フランス: マルク・ブロック大学2名、ロベール・シューマン大学1名、ジョセフ・フーリエ大学1名、スタンダール大学1名、ピエール・マンデス大学1名、スイス: ローザンヌ大学1名、スウェーデン: ウプラサ大学1名、ストックホルム大学1名、メキシコ: グアダハラハラ大学1名、ニュージーランド: オークランド大学1名、イスラエル: テルアビブ大学1名)

中国重点大学におけるアドバイザー制度の推進： 1,000,000円

京都大学が中国における確固たる地位を確立し、優れた研究者・学生を獲得するため、中国重点大学(北京大学・清華大学・復旦大学・上海交通大学・南京大学・浙江大学)に、「京大研究・留学アドバイザー(略称KURSA)」を任命配置し、京都大学との研究・留学の窓口として協力を依頼する。KURSAは、中国を代表する大学で京都大学の学位を保持する第一線の研究者に無報酬で依頼し、年に一度、1週間程度京都大学に招へいして情報提供や情報交換を行う。

「京大研究・留学アドバイザー(KURSA)」招へい経費

京都大学国際フォーラムの開催： 3,800,000円

日仏修好通商条約締結150周年の機会に、学生に英語だけではなく他の外国語も学習することの必要性や、多様な価値観・異文化理解の重要性を認識してもらうことを主な目的として、国際フォーラムを開催。

京都大学国際フォーラム: 『多極的な世界観の構築と外国語教育 - 多様な言語文化への挑戦』の開催経費

平成20年6月20日 京都大学百周年時計台記念館

基調講演 / ドミニク・ドヴィルパン(フランス共和国元首相)

シンポジウム / 三浦信孝(中央大学教授)・佐伯啓思(京都大学教授)

社会連携推進助成 (第5号事業) (助成事業件数3件 / 助成額 9,600,000円)

京都大学春秋講義の開催: 1,600,000円

京都大学での学術研究活動を広く一般市民に公開して、社会との連携を深める。京都大学の各部局において開催される公開講座は、それぞれの専門領域を反映した講座となっているが、京都大学春秋講義では、京都大学の持つ総合性の魅力を発信していく機会として期待されている。

京都大学春秋講義(2008年春季講座・秋季講座)の開催経費

開催場所: 京都大学百周年時計台記念館・京都大学桂キャンパス船井哲良記念講堂・キャンパスプラザ京都

【2008年春季講座】

月曜講義 / 京都大学百周年時計台記念館 メインテーマ: 外から見た日本と世界

5月12日 「最先端科学技術で見る美の世界」	工学研究科教授	井手 亜里
5月19日 「地域づくりと防災の視点からみた日本とアジア」	地球環境学堂准教授	ショウ ラジブ
5月26日 「トロイの木馬か? 忠誠心のジレンマ」	人間・環境学研究科准教授	ハヤシ ブライアン マサル

水曜講義 / 京都大学桂キャンパス船井哲良記念講堂

5月14日 「平安京の発展と洛西地域」	人間・環境学研究科教授	西 山 良 平
5月21日 「環境と化学」	工学研究科長	大 嶋 幸 一 郎
5月28日 「持続可能型社会の住まいづくり」	工学研究科教授	高 田 光 雄

【2008年秋季講座】

月曜講義 / 京都大学百周年時計台記念館 メインテーマ: 海(うみ)

10月 6日 「海からの贈り物 海洋生物資源を未来につなぐ」	農学研究科教授	平 田 孝
10月14日 「海のギリシア文字」	文学研究科教授	中 務 哲 郎
10月27日 「観測とモデルの総力戦で海の全層を診る」	理学研究科教授	淡 路 敏 之

水曜講義 / キャンパスプラザ京都

10月 8日 「糖尿病の早期発見 予備軍から生活習慣を」	医学研究科教授	稲 垣 暢 也
10月15日 「京都大学と京都」	総 長	松 本 紘
10月29日 「裁判員制度が始まります！」	法科大学院特別教授	長 瀬 敬 昭

京都大学フォーラムの開催： 4,000,000円

産学連携や社会貢献への積極的展開として、政治・経済・行政の中心である東京において、産業界、学界、マスコミ、関係省庁等に対し、京都大学における産学連携の取り組みや最新の研究活動に関する情報を発信する。

京都大学東京フォーラムの開催経費

平成20年12月2日 東京會館

テーマ：魅力・実力・活力の京都大学を目指して

基調講演 (総長 松本 紘)

特別講演 「人材育成と世界経済」 (副学長 西村周三)、

「アフリカの今を京都で考える」 (アジア・アフリカ地域研究研究科長 島田周平)

京都大学附置研究所・センターシンポジウムの開催： 4,000,000円

京都大学の附置研究所・センターの活動や研究の成果を広く社会に発信する。学界・産業界の専門分野の研究者 技術者の情報交換・普及を図るとともに、関連企業や一般市民を対象に、研究所やセンターの教育・研究活動への理解を深める。

平成20年度京都大学附置研究所・センターシンポジウムの開催経費

平成21年3月14日 名鉄ホール

テーマ：京都からの提言 21世紀の日本を考える『学問のつながりのユニークさ：それがつくる明るい未来』

講演：「セックス 語りたい？ 語れない？」 (人文科学研究所教授 田中雅一)

「植物で自動車を創る！ 生物の力を材料開発」 (生存圏研究所教授 矢野浩之)

「野生動物に学ぶ 雪虫からイルカまで」 (野生動物研究センター教授 幸島司郎)

「人間が生き延びてこられたのはなぜか グローバル・ヒストリーの新しい問い」 (東南アジア研究所教授 杉原 薫)

「素粒子論研究の想いで」 (元基礎物理学研究所長 益川敏英)

パネルディスカッション：「学問のつながりのユニークさ：それがつくる明るい未来」 (コーディネーター 原子炉実験所長 代谷誠治)